

平成20年度学校評価アンケートについて

学校評価アンケートを、保護者・生徒を対象に実施させていただきました。ご協力有難うございました。

この調査は、生徒の学校生活をより充実したものにすするため、また四條畷学園高校より良い学校にするための資料を得ることを目的として行い、アンケートの集計がつぎのようにまとまりましたので、報告させていただきます。

調査の結果から得られた傾向や課題を整理し、今後の学校運営や教育活動に活かしていきたいと考えています。

※質問項目の問い方は生徒と保護者で少し異なる部分もありました。

調査は質問の各項目について、5段階の評価から選択していただきました。

- 1:その通りである 2:どちらかといえばその通りである
3:どちらともいえない 4:どちらかといえば違う
5:まったく違う

※なお評価の都合上、1を5点、2を4点・・・5を1点として評価しました。

3.0が平均値、それ以上は評価が高く、それ以下は評価が低くなります。

回答された方すべての評価数値を平均したものを5段階数値で表示しました。

保護者用と生徒用の結果を併記しました。比較してご覧ください。 ◇全学年の合計

番	項 目	保護者	生徒
1	授業は落ち着いた雰囲気の中で分かりやすく教えている	3.4	3.2
2	学力向上のために教科の学習内容を熱心に指導している	3.6	3.4
3	生徒の進路に関する説明会や情報提供がなされている	3.7	3.6
4	学園の短大や大学への進学がある程度保障されていて安心だ	3.8	3.5
5	生徒個々の個性や目標に応じた進路指導が行なわれている	3.6	3.4
6	いろいろなクラブ活動・特設科などが活発に行なわれている	4.2	4.1
7	文化祭・体育会など行事は活発に行われている	4.1	3.7
8	服装・頭髪・持物など生活面での規則・ルールは適切である	3.6	3.5
9	生活面での規則・ルールはよく守られている	3.4	3.4
10	学年・クラスでの生活指導はしっかり行なわれている	3.7	3.6
11	学校での友人関係・友達付き合いは良い	4.1	3.9
12	生徒は先生を信頼しており先生・生徒の関係は良い	3.8	3.3
13	勉強や進路、個人的な悩みなど先生に相談しやすい	3.6	3.1
14	学校からの行事予定など連絡事項は家庭によく伝えられている	3.8	3.4
15	学校のトピック・情報はホームページなどでよく伝えられている	3.6	3.4
16	生徒会活動やPTAの活動は活発でよく協力している	3.4	3.5
17	フォーマルとインフォーマルの組合せが可能な今の制服に満足している	4.0	4.0
18	学校の施設・設備は良く整っている	3.9	3.6
19	校内の美化・清掃は行届いている	3.9	3.5
20	学校の雰囲気は全体的に良いと思う	3.9	3.4

番	項目	保護者	生徒
21	学校は楽しく入学してよかったと思う	4.1	3.4
22	この学校は生徒を成長させてくれると思う	3.9	3.4

学校評価アンケートの分析

【1】 生徒用アンケートの分析

1. 全学年の各項目別評価を分析

① 評価の高い項目

6. クラブ・特設科が活発 4.1 7.文化祭・体育会など行事がさかん 3.7

11. 友人関係がよい 3.9 17.制服がよい 4.0

◇ クラブや行事が活発で、友達と仲良く学校生活を送っているようすが伺える。

◇ 明るく元気で活気のある学校であると、学園の特徴をとらえている。

② 評価が低い項目

1. 授業は落ち着いて分りやすい 3.2 12.先生と生徒の関係はよい 3.3

13. 悩みを先生に相談しやすい 3.1

◇ 授業は静かに集中して取り組めるよう分りやすい授業をめざして努力・工夫する必要がある。

◇ 先生が生徒の様子をよく見て、一人ひとりに声をかけ、気軽に相談に応じる姿勢が大切である。

◇ 学校の雰囲気、先生との関係、指導内容などについてはあまり良い評価をされていない。

2. 高校としてどの項目を重点課題として改善するか。

まず 1.で触れた評価の低い項目を重点に指導を充実させなければならない。一人ひとりを大切にする教育、品位の向上、生徒が成長できる指導を実践していかなければならない。

3. 前年度との比較

大きな変動はなく、ほぼ横ばいだが、前年度と比較して0.1- 0.2 上昇している項目が多くあった。

上昇しているものの、3点台である項目が多いので、今後もさらに改善努力が求められる。

【2】 保護者用アンケートの分析

1. 各項目のアンケート結果を生徒の結果と比較しつつ保護者の評価を分析する。

① 保護者は生徒にくらべると多くの項目でより高い評価をあたえている。

② 生徒に比べてやや好意的に評価していると思われるが、低い評価項目については厳粛にうけとめたい。

2. 保護者がどの項目を高く評価し、どの項目を低く評価しているか。

① 部活・行事・友人関係・制服等について評価が高く、入学させてよかったと評価している。

② 授業・教科指導・進路指導・規則・PTA活動等についての評価は必ずしも高くない。

3. 生徒と保護者の結果が異なる項目について考える。

① 学園の短大・大学があることに対する評価は保護者の方が高い。

② 先生と生徒の関係、先生と相談しやすいという項目は生徒の方より評価が高い。

③ 設備・美化については、生徒の方が低く評価している。

④ 入学してよかった、成長できるという項目は保護者の方が高く評価している。

4. 保護者が高校に何を求めているかを考え、その対策をたてる

① 充実した授業を行い、学力を高めてほしい。

② 規則を守り規律ある高校生活を送らせてほしい。

③ 子どもにとって信頼できる相談しやすい先生であってほしい。

④ 進路指導を充実させ、進路目標を実現させてほしい。

5. 前年度との比較

大きな変動はなく、ほぼ横ばいだが、前年度と比較して多くの項目で 0.1 上昇している。学園が教育の改善に取り組んでいる姿勢が少しずつ理解されつつある。

【3】 アンケート分析の活用と学校改革

高校教育の目標は自ら学び、より良い人間関係を形成し、社会に貢献しようとする人を育成することである。前年度に引き続き、その目標を実現するために、次の課題に重点的に取り組まなくてはならない。

① 規律ある学校生活の実現と品位のある生徒の育成

② 充実した分かりやすい授業と人間性を豊かに育てる活動

③ 将来の目標を見出し生徒の進路目標を実現させる指導